

コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり6.10人の報告がありました。3週連続で増加しており、注意が必要です。また、ノロウイルスによる集団発生が1件報告されています。感染予防のため、便・吐物は適切に処理しましょう。また、トイレの後、便・吐物を処理した後、調理の前、食事の前など、石けんと流水でこまめに手を洗いましょう。

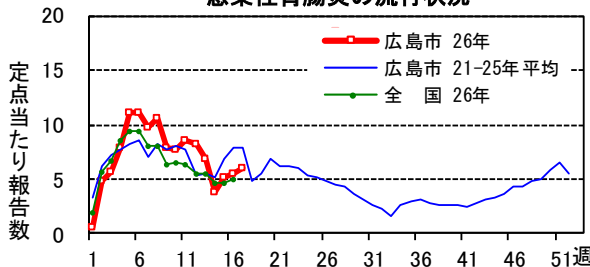
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.94人の報告があり、前週と比べて増加しました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

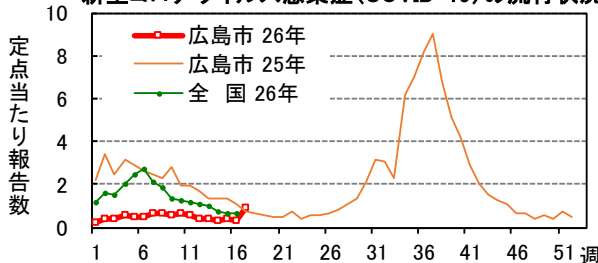
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.95人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2~5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、莓舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2087	61.38	▲	▲	小児科	突発性発しん	7	0.33	0.33	
	インフルエンザ	11	0.32	1.25			ヘルパンギーナ	7	0.33	0.06	
	新型コロナ(COVID-19)	32	0.94	▲	▲		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	9	0.43	0.80		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	咽頭結膜熱	8	0.38	0.43			流行性角結膜炎	2	0.25	0.65	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.95	2.02	▶	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	128	6.10	7.81	▶		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	6	0.29	0.10			マイコプラズマ肺炎	1	0.17	0.10	
	手足口病	2	0.10	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.19			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.07	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▶		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	46	10歳未満・1人、20歳代・1人、70歳代・2人
4	E型肝炎	1	1	70歳代
5	梅毒	7	35	20歳代・2人、30歳代・2人、50歳代・3人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	90歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ (COV-D-19)	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(口タウウイルス)	感染性胃腸炎
広島市	第13週	1,618	185	12	6	5	42	144	7	1	-	4	1	1	-	1	-	-	3	-	-	-
	第14週	1,470	63	11	5	5	46	76	5	-	1	5	2	-	1	6	-	-	-	-	-	-
	第15週	1,578	28	13	10	3	47	108	9	1	1	7	3	-	-	8	-	-	1	-	-	-
	第16週	1,781	14	11	7	4	66	116	7	2	1	3	13	-	-	4	-	-	2	-	-	-
	第17週	2,087	11	32	9	8	62	128	6	2	-	7	7	1	-	2	-	-	1	-	-	-
広島市	第13週	47.59	5.44	0.35	0.29	0.24	2.00	6.86	0.33	0.05	-	0.19	0.05	0.05	-	0.13	-	-	0.50	-	-	-
	第14週	44.55	1.91	0.33	0.25	0.25	2.30	3.80	0.25	-	0.05	0.25	0.10	-	0.13	0.75	-	-	-	-	-	-
	第15週	46.41	0.82	0.38	0.48	0.14	2.24	5.14	0.43	0.05	0.05	0.33	0.14	-	-	1.00	-	-	0.17	-	-	-
	第16週	52.38	0.41	0.32	0.33	0.19	3.14	5.52	0.33	0.10	0.05	0.14	0.62	-	-	0.50	-	-	0.33	-	-	-
	第17週	61.38	0.32	0.94	0.43	0.38	2.95	6.10	0.29	0.10	-	0.33	0.33	0.05	-	0.25	-	-	0.17	-	-	-
全国	第15週	43.46	1.46	0.63	0.53	0.24	2.28	4.62	0.33	0.11	0.08	0.25	0.03	0.02	-	0.40	0.02	0.02	0.16	0.01	0.07	0.07
	第16週	49.95	0.92	0.68	0.59	0.26	2.96	5.06	0.32	0.18	0.08	0.27	0.05	0.03	0.01	0.37	0.02	0.05	0.17	0.02	0.07	0.07

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

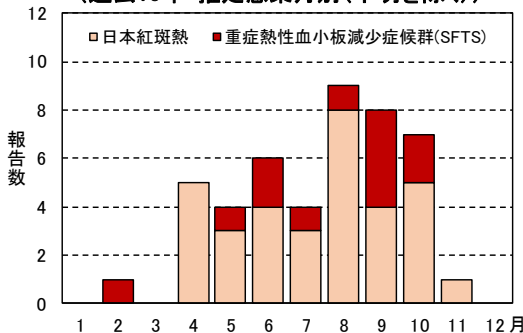
検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ヒクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第12週	15	11		4					1	1				5		1
第13週	12	7		3				1						4	2	1
第14週	13	10		1		2	1	1	3					3		
第15週	14	9						1	1					7	1	2
第16週	15	7		1					3					5	1	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】マダニが媒介する感染症に注意しましょう！

広島市におけるマダニ媒介感染症の発生状況 (過去10年・推定感染月別(不明を除く))



【参考】マダニ対策、今できること (国立健康危機管理研究機構)

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.html>

マダニが媒介する感染症には、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)があり、病原体を保有するマダニに刺されると感染することがあります。主にマダニの活動が盛んな春から秋にかけて報告があります。主な症状は、日本紅斑熱は発熱や発疹、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は発熱や消化器症状で、重症化すると死亡することもあります。

予防には、マダニに刺されないようにすることが重要です。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用して皮膚の露出を少なくし、マダニの付着を防ぎましょう。

屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか確認しましょう。吸血中のマダニに気づいたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などを受診して除去してもらいましょう。マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp